

先輩のキャリアを聞く会 9月7日1年生を対象に、先輩のキャリアを聞く会を開催しました。



75回生から77回生までの卒業生4名がパネリストとして司会の関山キャリア教育推進部長の質問に答える形で大学生活、就職にかかる話をいただきました。それぞれ国公立大学経済学部、私立大学看護学部とマネジメント創造学部、ホテル勤務の4名が高校時代に「いつその進路を決めたのか、決めた理由は何か、現在の状況はどうか」等高校生がイメージしやすいように答え

ていただきました。印象に残ったのは、それぞれの立場で「就職活動では挨拶や礼儀が大切、看護では人に興味を持つことが大事、やることが決め切れていないから幅広く学べる学部を選んだ、接客でありがたいといってもらえると嬉しかったが、英語が苦手な話せないのは悔しく感じる」等、今の高校生が学んでおくべきことや確認しておくべきことを伝えていただいたことです。生徒たちには年齢が近いだけにその内容がよく伝わったと思います。高校時代の部活動と大学での体育会系の活動と比較して、大学ではより自分が意識して活動することが大切であるということをお話されました。また、看護では実習が多く部活動はできないという話もありましたが、時間に余裕がある場合は、部活動やアルバイト、遊びに十分時間を使える学部もあり、自分で何を意識して活動するかという活動の原点ともいえるべきことを話していただきました。お忙しい中、駆けつけて話をしてくださった先輩方、本当にありがとうございました。

ニュージーランドエリムクリスチャンカレッジ国際部長来校 9月7日国際交流のための訪問ということ

でニュージーランドのエリムクリスチャンカレッジからキャロル国際部長とジム理事が来校されました。本校の学校紹介ビデオを見たのち2年7組のコミュニケーション英語の授業に入ってくださいました。この日は前号で紹介した新しいALTのアトゥール先生が参加される初めての授業でもあったのですが、原先生の展開される熱心な授業と生徒たちの反応



に驚きながら参観していただきました。授業後は、部活動見学ということで空手道部と柔道部の練習を見ていただきました。具体的な交流にはまだまだハードルは高いですが、国際交流は大事な活動でもありますので、少しでも前に進めていけたらと思っています。ニュージーランドの学校制度や教育活動についても簡単なお説明をいただき、文化の違いやカリキュラムなどご説明いただきました。このような機会を利用して、生徒たちにも実際の交流の場面でそういった違いや世界の情勢を知るきっかけ作りができるよう努めていきたいと思いました。関係の先生方ありがとうございました。

稲の成長から感じること 左の写真は7月末に撮った

青々とした田の写真です。この時点ではまだ全くといって良いほど実をつけておらずまだまだ伸びていく感じです。右の写真は9月8日の朝に撮りました。稲の穂が実り、垂れてきているのがわかると思います。あと1ヶ月しないうちに稲刈りが



が始まります。6月初旬までに田植えがされ、成長を見守りながら、防虫に努め、稲穂が実るまでの行程が毎年繰り返されます。昨年はお米の値段が驚くほど上がり、米不足が叫ばれましたが、今年は豊作で大幅に値が下がることが予想されています。1年に1度のこととはいえ、田植えの機械、稲刈りの機械、脱穀作業など大きな機械ほど作業は早く終わりますが、その機械は高額で一つの家庭に1台は置場所もないのでよほど大きい農家でない限り持っておられないのではないのでしょうか？食べるものはあって当たり前のように思っていますが、こういった農作物の成長を見ていると生産者の方々のご苦労が見えてきます。先日3年生との面談を終えましたが、農業を勉強したいといってくれた生徒が数名いました。とても嬉しく思いました。第一次産業はとても大事です。我々の生活に直結します。すべてが工場生産されるわけもなく、農作物の災害による被害や盗まれることによる被害を耳にするにつけて心が痛みます。「食」を大事にする習慣を身につけ、物価も意識しながら生産者の思いにも触れて、心が満たされる「食」を摂れるようにしていきたいと思っています。